

2025年12月17日

株式会社日立製作所

日立、CDP「気候変動」と「ウォーター」の2分野で最高評価「Aリスト」企業に選定

株式会社日立製作所(以下、日立)は、環境分野における国際的な非営利団体CDPにより、「気候変動」および「ウォーター」に関する取り組みや透明性の高い情報開示が評価され、両分野で最高評価「Aリスト」企業として選定されました。「気候変動」分野では5年連続のAリスト選定となります。なお、今回の選定は日立グループ全体の取り組みを評価されたものですが、個社として評価を受けた日立ハイテクは「気候変動」および「ウォーター」においてAリスト、日立エンジニアは「気候変動」でAリストに選定されています。

日立は、サステナビリティ戦略「PLEDGES」および環境長期目標「日立環境イノベーション2050」で、環境に関する目標を定めています。「気候変動」への対応は、2050年度までにバリューチェーン全体の「ネットゼロ^{*1}」の実現をめざし、高効率な製品や革新的なサービス・技術により、温室効果ガス排出量の削減やバリューチェーンの脱炭素化に貢献します。「ウォーター」への対応については、2030年度までに水使用を10%削減(2019年度比)することをめざし、取水管理や漏水対策の強化、冷却用水の循環利用、廃水浄化による再利用等の施策を実施しています。

*1 1.5°C目標の排出削減シナリオに沿ってバリューチェーンにおけるGHG排出量を可能な限り削減し、残余分を吸収または固定化することで恒久的に除去し、中和すること

日立は、IT、OT、プロダクトを活用してお客様や社会の課題を解決する社会イノベーション事業を推進し、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現をめざしていきます。

■環境ビジョンと環境長期目標

<https://www.hitachi.com/ja-jp/sustainability/environment/vision/>

■日立のサステナビリティに関する取り組みについて

<https://www.hitachi.com/ja-jp/sustainability/>

■サステナビリティ関連の報告書

サステナビリティレポート

<https://www.hitachi.com/ja-jp/sustainability/download/>

統合報告書

<https://www.hitachi.com/ja-jp/ir/library/integrated/>

■CDPについて

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営するグローバルな非営利団体です。

詳しくは、CDP ウェブサイト：<https://www.cdp.net/ja> をご覧ください

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティビティ＆ストリーズの4セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略SIBビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumadaをコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2024年度(2025年3月期)売上収益は9兆7,833億円、2025年3月末時点で連結子会社は618社、全世界で約28万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.co.jp をご覧ください。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
